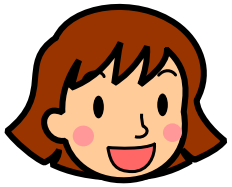
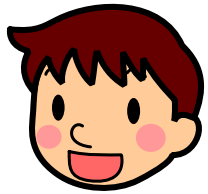


お子さんを交通事故から守るために



～交通安全は家庭から～

大切なお子さんの命を守るためには、まず一番身近な保護者の皆さんが、毎日の生活の中で、繰り返し指導をしていくことが大切です。

子どもの特性を理解して交通安全指導を！

１つの事に注意が向くと周りが目に入らない！

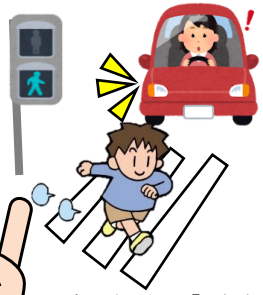
道路に転がったボールに夢中で近づいて来る車に気付かない

⇩

『とびだし』

- ★道路を渡る時にはまず**[止まる]**を習慣付ける
- ★道路や駐車場では**手を繋ぐ**

物事を単純にしか理解できない！



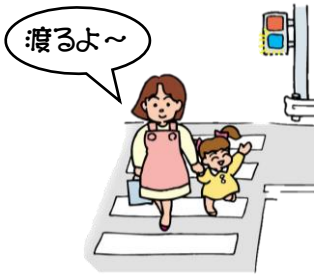
青信号で確認もせず一目散に走り出す

⇩

曲がって来る車等を意識できない

- ★青信号でも曲がってくる車等がいないか**確認をさせる**
- ★「後ろから赤い車来てるよね」等**具体的に教える**

大人の真似をしたり、依存しやすい！



周りに大人がいると自分で判断せず大人に頼ってしまう

⇩

自分で安全な行動を取れない

- ★子は親の鏡！まずは大人が**お手本になる**
- ★お散歩等でお子さん自身にも**安全確認をさせてみる**

みんなで実践!! 『安全な道路の渡り方』

①止まる

②手を挙げる

③見る

子どもの目線に合わせて確認！

お子さんが小学生になった時、１人でも安全に歩けるよう今のうちから、日常生活の中で繰り返し指導をお願いします。

お知らせ

令和5年4月1日から

全ての自転車利用者へのヘルメット着用が努力義務となりました！

※着用するよう努めなければならない

自転車事故死者の致命傷は**頭部**が**約7割**！

ヘルメットを着用しないと…**致死率**が**約3倍**に！

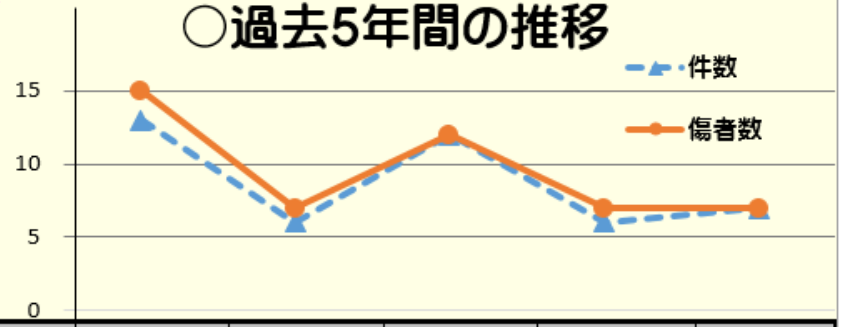
（※静岡県内 平成25年～令和4年 静岡県警察調べ）

大切な命を守るため 大人も子どもも ヘルメットを着用しましょう

お子さんが小学校就学始期までは、幼児用座席に乗せることができます（体重８～２２kg）

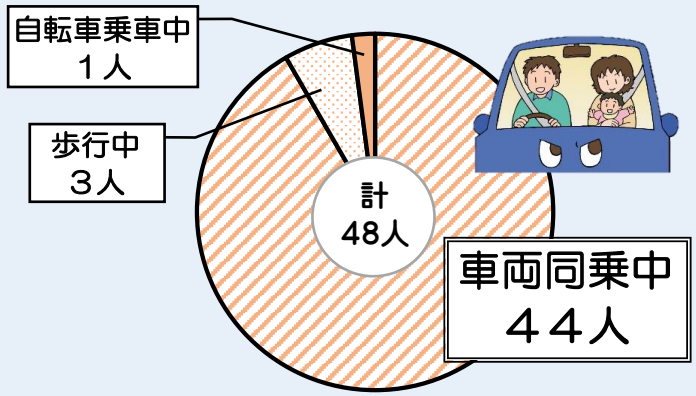
大仁警察署管内 幼児・園児の交通事故発生状況

○過去5年間の推移



区　分	H30	R1	R2	R3	R4
件　数	13	6	12	6	7
傷者数	15	7	12	7	7

○過去5年の状態別傷者数



約90%が自動車同乗中の交通事故！

お子さんの命を守るためには年齢ではなく**お子さんの体に合ったチャイルドシート・ジュニアシート**が必要です。

チャイルドシート・ジュニアシートを正しく使用しないと、正しく使用した場合より、死亡したり重傷を負うリスクが高まります！

＼生まれて帰るときから！／

乳児用チャイルドシート

【目安】

年齢：新生児～１歳

身長：７０cm以下

体重：１３kg未満

＼自分で座れるようになったら！／

幼児用チャイルドシート

【目安】

年齢：１～４歳

身長：６５～１００cm以下

体重：９～１８kg

＼幼児用チャイルドシートがきつくなったら！／

学童用ジュニアシート

【目安】

年齢：４～１０歳以下

身長：１３５cm以下

体重：１５～３６kg

大人用のシートベルトは**身長135cm以上**から正常に機能します。
※車種によって異なります
6歳を過ぎても、体格に合わせてジュニアシートを活用しましょう！

交通安全教室等の活動の様子を当地区支部HPに掲載しています。

交通安全協会大仁地区支部　検索

ぜひご覧ください！

交通安全協会大仁地区支部　交通安全指導員　令和5年発行

このチラシは、安全協会にご協力いただいた皆様の会費で作成しています。